

(別紙3)

文起第875号-1

令和2年9月2日

(施設名) 米子市立山陰歴史館
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊 木 隆 司

令和元年度「米子市立山陰歴史館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市立山陰歴史館
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日(9年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。

特に、利用促進については、前年度から引き続き、美術館と連携した企画展割引券の発行、米子城に関する展示、地域にゆかりの深い刀剣展や「国鉄米子鉄道管理局からJR西日本米子支社の70年」など地域に根差した市民が興味を持ちやすいテーマで企画展を実施するなどの工夫が見られ、また、ANAホールディングスの周遊企画のチェックポイントにしたことで、施設利用者数も前年度を上回っていることは高く評価できる。今後も更なる取り組みを行うことで、一層の来館者の満足度の向上や利用者数の増加が図られることに期待したい。

【第三者評価】

① 施設について

- ・ 歴史館として設置された施設でないため、運営に多大な苦労があるが、これにうまく対処している。
尚、建築物自体が旧市役所であり文化財であるため、これを維持するにも配慮が必要である。
- ・ 来館者と対話、又調査するスペースの確保が必要。
- ・ 古いながらも常に清潔に保たれている。
- ・ 屋根の修繕やLEDへの交換を実施され、また職員による日常的な清掃・点検等を行っており施設管理に気を配っていることがうかがえる。
- ・ 旧庁舎転用のため、策を講じて、事業を展開されていることは、好ましい。
- ・ 貴重な建物なので、大切に維持されていると思います。
- ・ 建物の老朽化はあるが、清掃は行き届いている。エアコン設備がないため、特に夏場の暑さ対策が重要

になるが、HPで利用者への注意を呼びかけており、館内に扇風機、スポットクーラーを何台も置くなどして対応している。

②管理について

- ・管理には充分手が尽くされている。
- ・管理は良くされている。
- ・外部での研修機会を確保し、優秀な人材を育成して欲しい。
- ・協定書に基づき、日常の施設の設備点検や修繕業務等適切に行われている。
- ・暗いイメージがつきまとい（老朽化）つつも、清掃等に努力される状況が見てとれるが、イメージの払拭は、手ごわい感がある。職員の職務（本来の）とは別の問題なので、気の毒な面である。
- ・従来からの所蔵資料に加え、新しく寄贈された資料についても目録整理・データ登録などを行っている。所蔵資料の閲覧・貸出等に関しても適切に対応している。

③事業について

- ・他機関、組織との共催は非常に効果的。
特に国鉄・JR展は非常に人気を奏した。
- ・ロビー展は大変興味をそそる。
- ・「米子城にまつわる人々」は大好評。
- ・少ない資料を工夫し変化を持たせる見せ方が毎年みられる。
- ・企画展は当時の社会風俗がよくわかるものへの関心が高いように思われるので、今後も写真、図、実物などを上手に組み合わせて、見る人によりイメージしやすい内容にして欲しい。
- ・館内を見学している時に、何人かマスクをしていない見学者を見かけた、なかなか声をかけにくい、お年寄りにも、マスクの着用を職員がしっかりと呼びかけてほしい。
- ・広報誌、ホームページ、Twitterなどで広く周知されて、利用者の拡大に努めている。企画展、連携事業、講演会等を数多く実施し、施設の利用促進とサービス向上に努めている。
- ・各事業においても、アンケートの集約にも努めるなど、来館者目線で注視される姿勢は継続してほしい。
- ・マニアも含め、一般の方の来訪者が足を運ぶ事業展開にして下さい。
- ・メディアを利用して、PRも積極的にして下さい。
- ・いろいろな企画をされている、参加人数も他県からの参加もありPR方法（チラシ、ポスター等）も努力されていると思いました。
- ・企画展や講座・講演会、小学生の体験学習や学芸員実習等、地域の文化・教育振興や人材育成のために積極的に活動しており、地域貢献に努めている。また、HP、公式 twitter 等を通して情報発信に努めており、来館者の増加につながっている点は高く評価できる。HPのデザインも明るく洒落た感じで読みやすく、記事も適宜更新されていてよい。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

今後も適切な施設管理に努め、関係機関や他施設と連携協力のもと引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら企画展、ソフト事業等の内容を検討することで、さらなる市民の歴史的知識・教養の向上や入館者数の増加に期待したい。

【第三者評価】

- ・古い米子市のシンボルとして保存するので、時計の文字盤の修復（ローマ数字 I、II、III、IV・・・）が願ひ。あの中から戦時の空襲、戦後（正午、火事・・・）にサイレンが鳴った。市民はよく憶えている。
- ・米子城跡整備事業も着工の運びとなった。継続して、米子城をテーマに事業展開されること望む。
- ・難しいかと思いますが、やはり車イスの来客にも対応できればと思います。
- ・館蔵資料について、いずれはHPで検索できるようにしてもらいたい。

(別紙2)

令和元年度下期「米子市立山陰歴史館」モニタリング評価表〔令和2年8月〕

施設名	米子市立山陰歴史館	
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	公募 非公募	
施設の設置目的	郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土の歴史、民俗及び考古資料を主として収蔵展示する博物館類似施設であり、常設展示のほか様々な企画展を実施。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員配置がなされ、緊急時の連絡体制・マニュアル等が整えられている。 また、救急救命・防災のための訓練や研修に参加している。 [資料等確認]
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	財団主催の研修のほか、米子市などの外部で実施されている研修にも参加し、職員に必要な資質・能力の向上を図っている。 [資料等確認]
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	チラシの配布やポスターの掲示をはじめ、広報よなご、ホームページへの情報掲載、報道機関への情報提供、Twitter などにより、利用者拡大に努めている。 [資料等確認、立入調査]
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	利用者数は適切な水準である。 [資料等確認]

(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	<p>日常業務で受けた利用者からの要望を迅速に担当者へ報告するとともに、企画展や講演会でのアンケート実施による利用者の要望の把握を行い、その実現に向けて努力している。</p> <p>[資料等確認・立入調査]</p>
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づいて、電気・水道・消防設備等の点検を適切に行っている。第三者に行わせる業務は必要最小限である。[資料等確認]</p>
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づき、定期清掃を行なうなど施設内の清掃や植栽の管理等を適切に実施している。第三者による業務は最小限のものである。[資料等確認、立入調査]</p>
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づいて、保安・警備業務が適切に実施されている。第三者の行わせる業務は必要最小限である。[資料等確認]</p>
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づいて、適切な修繕業務が実施されている。第三者に行わせる業務は必要最小限である。 [資料等確認]</p>
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	<p>事業計画書の内容に沿った自主事業が実施されている。事業内容のタイアップや資料を借用など他の施設と連携を図り、充実した事業展開が出来ている。また、太平洋戦争の米子、大山の歴史、人形作家安部朱美氏制作「御幸（御輿行幸）」の展示など地域に根差した事業を積極的に実施している。 [資料等確認、立入調査]</p>

5	情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	歴史館内の資・史料については、歴史館条例に沿った書式で対応した。[資料等確認]
6	管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」という施設のあり方を正しく認識しており、事業計画書に具体的な提案がなされている。[資料等確認]
II サービスの質の評価 (25点)				
1	利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	アンケートの実施や窓口対応等を通じて、来館者からの要望・意見の把握を日常的に行い、事業計画書には利用者への具体的なサービス向上策が反映されている。 [資料等確認]
2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づいて、職員が日常的に清掃・点検等の業務を行い、細かくチェックすることで良好な状態が保たれている。 [資料等確認、立入調査]
3	運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	事業実施計画書により利用者への具体的なサービス向上策が提案され、利用者への接客・対応は適切である。利用者への許可、資料提供などを行っている。 [資料等確認、立入調査]
4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	市民に親しみながら歴史的価値を知ってもらえるような内容であった。企画展「米子城にまつわる人々」では、米子城に関する人々を紹介し、その歴史を辿りました。また、弓浜拵の機織り体験や糸紡ぎ体験の場を提供することで、利用者には郷土の歴史や弓浜拵への興味関心を高める機会となった。[資料等確認、立入調査]

5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」という施設の設置目的に沿って、市民の知ることの少なかった地元の歴史に関する情報発信や、市民がよく知っている地元の歴史の受け入れ体制づくりを模索しながら管理運営にあたっている。 [資料等確認、立入調査]
---	-------	--	---	--

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。 [資料等確認]
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか※3	B	妥当である。 [資料等確認]
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか※4	B	妥当である。 [資料等確認]

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理運営を行っており、利用促進業務、自主事業の実施に関する業務、運営業務、自主事業については、優れた水準であった。</p> <p>中でも、市民の親しみやすさを意識したテーマ選択がなされた点や、施設の利用促進とサービスの向上に資するものであったと高く評価できる。今後も更なる工夫がなされ、一層の利用者数の増加が図られることに期待したい。</p>	<p>合計点 (70) 点 / (100) 点 × 100 = (70)</p> <p>平均点 (3.5) 点</p>
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成31年4月～令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4月～平成31年3月〕B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	304	306	△2、99.35 (%)	
施設利用者数	21,161	16,201	4,960、130.61 (%)	常設展の入館者の増

施設稼働率	100%	100%	0、100 (%)	
事業開催数	197 (企画展展示日数)	261 (企画展展示日数)	△64、75.48 (%)	企画展の開催日数の減

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
指定管理料	20,723,000	21,504,000	△781,000、96.37 (%)	
業務受託収入	1,615,364	0	1,615,364、— (%)	
事業収入	778,075	553,060	225,015、140.69 (%)	企画展の入館者の増
雑収入	14,660	3,510	11,150、417.66 (%)	資料のコピー代の増
合計	23,131,099	22,060,570	1,070,529、104.85 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合 は増減理由を記載
人件費	14,526,091	13,796,334	729,757、105.29 (%)	
施設管理費	6,988,916	6,294,585	694,331、111.03 (%)	
旅費交通費	0	180,560	△180,560、— (%)	
通信運搬費	204,162	204,999	△837、99.59 (%)	
手数料	48,622	95,850	△47,228、50.73 (%)	粗大ごみの廃棄の減
備品購入費	0	93,312	△93,312、— (%)	
消耗品費	635,174	616,030	19,144、103.11 (%)	
修繕料	581,100	575,856	5,244、100.91 (%)	
印刷製本費	33,051	163,760	△130,709、20.18 (%)	パンフレット印刷費の減
光熱水費	826,741	833,989	△7,248、99.13 (%)	
燃料費	330,687	318,743	11,944、103.75 (%)	
食糧費	5,768	0	5,768、— (%)	
賃借料	830,323	830,705	△382、99.95 (%)	
租税公課	1,347,600	1,092,700	254,900、123.33 (%)	消費税及び地方消費税の増
負担金	24,312	23,107	1,205、105.21 (%)	
委託料	2,121,376	1,264,974	856,402、167.70 (%)	皆生素鳳館展示撤去作業委託費の増
事業費	1,762,337	2,009,409	△247,072、87.70 (%)	
臨時雇賃金	299,200	0	299,200、— (%)	
旅費交通費	34,090	75,882	△41,792、44.93 (%)	出演者交通費及び、調査旅費減

通信運搬費	6,501	19,284	△12,783、33.71 (%)	事業に係る郵送料の減
手数料	8,297	0	8,297、－ (%)	
消耗什器備品費	278,460	0	278,460、－ (%)	
消耗品費	522,071	528,012	△5,941、98.87 (%)	
印刷製本費	168,281	583,806	△415,525、28.82 (%)	図録印刷費減
食糧費	11,569	11,163	406、103.64 (%)	
保険料	34,480	0	34,480、－ (%)	
賃借料	109,770	5,790	103,980、1,895.85 (%)	
諸謝金	0	70,662	△70,662、－ (%)	
委託費	276,500	714,560	△438,060、38.70 (%)	資料移転作業委託料の減
負担金	13,118	250	12,868、5,247.20 (%)	とつりの文化遺産魅力発掘プロジェクト負担金の増
合 計	23,277,344	22,100,328	1,177,016、105.33 (%)	

※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕B	対 比 A－B、A/B	備 考
① 事業収支	△146,245	△39,758	△106,487、－ (%)	
② 利用料金比率	0	0	、 (%)	
③ 人件費比率	62.40	62.43	△0.03、99.95 (%)	
④ 外部委託費比率	9.11	5.72	3.39、159.27 (%)	
⑤ 利用者当たり管 理コスト	1,100	1,364	△264、80.65 (%)	
⑥ 利用者当たり自 治体負担コスト	979	1,327	△348、73.78 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	備考
①自己資本比率	57.7	51.0	55.1	44.9	62.8	
②流動比率	304.5	238.4	281.4	191.7	323.6	
③固定長期適合率	15.3	15.9	15.6	11.2	11.0	
④総資産経常利益率	-6.5	7.6	2.3	4.4	-0.5	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率(\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】} 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本(純資産合計)と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本(純資産合計)と長期調達したお金(固定負債)でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率(\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】} 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産(資産合計)に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

売上高	3,000
-----	-------

■貸借対照表（例）

■損益計算書（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益剰余金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

令和元年度企画展 米子城にまつわる人々（展示期間：H31/4/28（日）～ 6/30（日））
 入館者数：1,362人
 第12回鳥取藩主池田家墓所写真コンクール（展示期間：H31/4/28（日）～ 6/30（日））
 入館者数：1,620人

◆回答者数 162人 男：102人 女：51人 無回答9人

◆年代 10歳未満：4人 10代：3人 20代：7人 30代：7人 40代：22人
 50代：32人 60代：42人 70代：36人 80代以上：9人

◆お住まい 米子市：65人 境港市：5人 西伯郡：10人
上記以外の鳥取県内：9人（鳥取市・倉吉市）
県外：72人（北海道・秋田市・福島県・仙台市・栃木県・茨城県・埼玉県・春日部市・さいたま市・東京都・八王子市・千葉県・神奈川県・長野県・静岡県・浜松市・名古屋市・岐阜県・三重県・吹田市・兵庫県・芦屋市・神戸市・姫路市・安来市・松江市・出雲市・岡山県・岡山市・広島県・広島市・高知県・長崎市・大分県・韓国）

◆情報の取得について チラシ・ポスター：49人 新聞：14人 テレビ：3人 ラジオ：0人
インターネット：16人 市報：14人 その他：71人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：52人 良かった：83人 まあまあ良かった：13人 普通：8人
あまり良くなかった：2人 良くなかった：0人

◆記述欄（一部）

- ・米子城に関する知識が増えて良かった。
- ・米子城を見学してから来が、城の模型や当時の歴史の事についてくわしく展示しており、来て良かったと思う。
- ・古文書には読み下し文をつけてほしい。古地図には現在の地図との対応をしてほしい。
- ・池田家の系譜が良く理解できた。
- ・西郷について、荒尾駿河と土倉氏との関係が説明不足。

◆その他 ご意見・ご感想

- ・写真の名札、両面テープで貼付けられているものが何枚か外れ落ちていたので直した。
- ・「太平洋戦争時の米子」ののところを見落としそうになった。もう少し、目立たせた方が良いと思う。
- ・保存状態がよく昔の道具も親の世代が使っていたものがあり、よかった。
- ・玄関にいろいろな物が展示してあるのは良いが、外からはわからない。

令和元年度 講演会 「新発見資料の紹介！西郷隆盛の手紙×鳥取の明治維新」

講師 横山 展宏 開催期日：令和元年6月2日（日）

◆講演聴講者 27人

◆アンケート回収 19人

◆性別 男 13人 女 5人 無記入1人

◆年代 30代 2人 50代 1人 60代 4人 70代 10人
80代以上 2人

◆お住まい 米子市 14人 境港市 1人 西伯郡 2人 県外 2人

◆情報の取得について チラシ・ポスター 11人 新聞 3人 インターネット 1人
市報 2人 その他 2人

◆講演について

大変良かった 10人 良かった 7人 まあまあ良かった 0人
普通 2人 あまり良くなかった 0人

◆意見・感想

- ・戊辰戦争のことがわかった。
- ・おもしろかった。もう少し学生時代に日本史をまじめに勉強しておけばよかった。
- ・新発見資料についての詳細な講義ありがとうございました。大変勉強になった。
- ・今回の内容についてもっと詳細に講演して欲しい。

令和元年度 講演会 「毛利・尼子戦争と西伯耆の国衆」

講師 岡村 吉彦 開催期日：令和元年 6 月 15 日(土)

- ◆講演聴講者 80 人
- ◆アンケート回収 54 人
- ◆性別 男 38 人 女 16 人
- ◆年代 30 代 3 人 40 代 2 人 50 代 3 人 60 代 14 人 70 代 27 人
80 代以上 4 人
- ◆お住まい 米子市 35 人 境港市 4 人 西伯郡 9 人 日野郡 1 人 県外 5 人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター 30 人 新聞 1 人 インターネット 3 人
市報 13 人 その他 8 人
- ◆講演について
大変良かった 28 人 良かった 14 人 まあまあ良かった 0 人
普通 1 人 あまり良くなかった 1 人

◆意見・感想

- ・内容が詳しすぎる。全体の流れを中心にコンパクトに説明して欲しかった。
- ・西伯耆の戦国時代の詳しい話を聞くことができてよかった。
- ・マイクのせいかわからないが早口だったので、わかりにくかった。
- ・山陰歴史館従属の学芸員による地域の歴史の話を多く聞かれるよう要望する。鳥取市歴史博物館では多々な項目の講演を実施されている。米子もそのように広くPRされるように。

令和元年度講座 「陰徳太平記」を読む 第一回 開催期日：令和元年 9 月 1 日(日)

- ◆参加者 22 人
- ◆アンケート回収 17 人
- ◆性別 男 13 人 女 4 人
- ◆年代 30 代 2 人 50 代 1 人 60 代 2 人 70 代 8 人 80 代以上 6 人
- ◆お住まい 米子市 13 人 西伯郡 2 人 日野郡 1 人 その他 1 人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター 12 人 インターネット 3 人 その他 2 人
- ◆講演について
大変良かった 10 人 良かった 3 人 まあまあ良かった 1 人
普通 2 人 無回答 1 人

◆意見・感想

- ・戦国時代の話を興味深く学んだ。ありがとうございました。
- ・大永の五月くずれのことが知りたかったので、次回を期待している。

・説明ではなく物語として話していただいた方が面白いんじゃないかと思った。

令和元年度講座 「陰徳太平記」を読む 第二回 開催期日：令和元年9月8日(日)

- ◆参加者 20人
- ◆アンケート回収 15人
- ◆性別 男 12人 女 3人
- ◆年代 40代 2人 60代 2人 70代 6人 80代以上 5人
- ◆お住まい 米子市 11人 境港市 1人 西伯郡 2人 日野郡 1人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター 8人 インターネット 2人 市報 1人 その他 4人
- ◆講演について
大変良かった 8人 良かった 2人 まあまあ良かった 0人
普通 1人 良くなかった 1人

◆意見・感想

- ・勉強できた。ありがとうございました。
- ・大変詳しいご説明、得る所が多くありがとうございました。
- ・ついていくのが大変だった。もう少しゆっくり解説して欲しい。

令和元年度講座 「陰徳太平記」を読む 第三回 開催期日：令和元年10月6日(日)

- ◆参加者 15人
- ◆アンケート回収 12人
- ◆性別 男 9人 女 2人 無回答 1人
- ◆年代 30代 1人 60代 2人 70代 7人 80代以上 2人
- ◆お住まい 米子市 8人 境港市 1人 西伯郡 2人 日野郡 1人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター 8人 市報 2人 その他 4人
- ◆講演について
大変良かった 5人 良かった 4人 まあまあ良かった 1人
普通 0人 あまり良くなかった 1人 無回答 1人

◆意見・感想

回答なし

第8回米子歴史絵巻「下蚊屋の荒神神楽」 開催期日：令和元年10月27日(日)

参加者数：359人 会場：湊山公園日本庭園

- ◆回答者数 168人 男：69人 女：93人 無回答：1人
- ◆年代 10歳未満：4人 10代：2人 20代：3人 30代：8人 40代：21人
50代：17人 60代：40人 70代：56人 80代以上：17人
- ◆お住まい 米子市：138人 境港市：1人 西伯郡：11人 日野郡：0人
上記以外の鳥取県内：4人 県外：14人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター：69人 新聞：22人 インターネット：4人
市報：42人 その他：31人

◆演目について

良かった：145人 普通：9人 よくなかった：2人 無記入：12人

◆意見・感想

- ・屋外で大変楽しませて頂いた。初めて見させて頂き、“また来てみたい”と同行者と話をし、とても楽しい時間だった。
- ・久しぶりに荒神神楽を楽しんだ。
- ・老夫婦のかけあいが楽しかった。屋外でもありしかたないが、音響がもう少し良いと楽しめたと思うが、なかなか観る機会がないので近くで観る事は良かった。
- ・普段と違った場面、コントなどあり笑いも混じえ、とても楽しくすてきな神楽をみせていただき堪能させてもらった。

令和元年度企画展 西伯耆の中世城館 (展示期間：R1/11/10(日)～R2/1/26(日))

入館者数：1,638人

◆回答者数 155人 男：106人 女：40人

◆年代 10歳未満：4人 10代：1人 20代：8人 30代：17人 40代：29人
50代：33人 60代：30人 70代：28人 80代以上：3人

◆お住まい 米子市：48人 境港市：5人 西伯郡：0人 日野郡：1人

上記以外の鳥取県内：6人(鳥取市)

県外：93人 (島根県・広島県・三重県・長野県・栃木県・埼玉県・山形県・岡山県・京都府・
佐賀県・香川県・福岡県・静岡県・北海道・福井県・沖縄県・和歌山県・大阪府・
兵庫県・愛知県・神奈川県・東京都・千葉県・外国：中国)

◆情報の取得について チラシ・ポスター：44人 新聞：3人 インターネット：24人
市報：4人 その他：73人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：51人 良かった：81人 まあまあ良かった：14人
普通：6人 あまり良くなかった：1人 良くなかった：0人

◆記述欄(一部)

- ・大永の五月崩れ等戦国のリアルな感じがよくわかってとても面白かった。戦国マニアにはとても興味深い企画だと思った。
- ・私の近くにこんなに城が多くあることがわかった。説明もよくわかるように書いてあった。
- ・米子城だけでなく、西伯耆のお城について、全く知らなかった、少しわかってよかった。
- ・無料なので仕方がないが展示物が少ない。資料等の販売があればよい。
- ・用語解説が詳しく丁寧で、わからなかった言葉がわかるようになってうれしかった。

◆その他 ご意見・ご感想

- ・やはり展示ビデオでの紹介と指導される方の説明があつてわかりやすくてよかった。
- ・毎回帰省時に展示を見るのを楽しみにしている。大変興味深い展示だった。
- ・偶然この時期に来館したが、米子に来たらまた立ち寄りたい。
- ・昭和の学校の様子や昔の生活で使われていた道具など、懐かしいものがたくさんあり、来て良かった。
- ・綿など地元の収集の説明が良い。

令和元年度企画展 「国鉄米子鉄道管理局発足からJR西日本米子支社の70年をたどる」

(展示期間：R2/2/9(日)～R2/3/29(日))

入館者数：2,046人

◆回答者数 407人 男：288人 女：119人

◆年代 10歳未満：18人 10代：14人 20代：22人 30代：41人 40代：79人
50代：66人 60代：66人 70代：90人 80代以上：24人

◆お住まい 米子市：255人 境港市：19人 西伯郡：25人 日野郡：5人
上記以外の鳥取県内：31人 県外：117人

◆情報の取得について チラシ・ポスター：72人 新聞：48人 テレビ：44人 ラジオ：2名
インターネット：46人 市報：16人 その他：31人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：210人 良かった：160人 まあまあ良かった：30人
普通：13人 あまり良くなかった：5人 良くなかった：0人

◆記述欄(一部)

- ・もっと写真が多い方が良かった。
- ・子どもが鉄道に興味があったため、子ども向けの展示は少ないものの、勉強になった様子。
- ・説明もよかった。旧駅名、今と昔とちがう駅名とかがもっと分かりやすいとおもしろかった。
- ・鉄道展は子供達が多く、久々に活気のある展示で良かった。でも、資料としては、少し寂しかったと思う。
- ・山陰を走る特急の歴史がわかってよかった。孫もプラレールコーナーでたくさんの列車を走らせて楽しんだ。

◆その他 ご意見・ご感想

- ・この館は古いですが、ここしばらくは、開館、維持してもらいたいと思う。
- ・バリアフリー化を進めていただき、車椅子の人も見られるような環境整備をお願いします。
- ・引き続き庶民文化に関する企画をお願いします。
- ・映像で見る展示があると良かった。
- ・職員の方の親切に心から嬉しく感謝の日だった。ありがとうございました。